

この1年を振り返って

京都府中学校体育連盟

会 長 杉本 清彦

令和6年度の「京都府中学校体育連盟報告書」が発行される運びとなりました。本年度も、京都府中学校体育連盟の諸事業に対しまして、皆様方から多くの御指導と御支援を賜り、誠にありがとうございました。

本年度も各役員及び理事・各専門部の部長・専門委員長・専門委員の先生方には、競技運営等に御尽力いただき各事業を無事に終えることができました。はじめに「熱中症特別警戒アラート」の運用に伴い、本連盟においても例年の気象警報の対応に加え、熱中症に関するガイドラインの見直し、空調設備の整った体育館や救護室、WBGT測定器、経口補水液の準備など、安心・安全を第一に、熱中症対策を講じて大会運営にあたりました。次に、昨年度に引き続き、京都府総体において、地域クラブ活動の参加がありました。勝利至上主義の判断、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」の順守等、課題も山積みではありますが、中体連の規定をもとにお互いに連携し、よりよいかたちを見出すことができればと思います。さらには、令和6年度第73回近畿中学校総合体育大会が京都府で開催されました。8月5日、バスケットボール会場である、かたおかアリーナ京都での総合開会式を皮切りに大会が始まり、10月から11月にかけてラグビーフットボール、12月には駅伝競走が開催されました。1月に専門部の判断により中止となったスキーを除いては、全ての競技を終え、無事に幕を閉じることができました。

8月下旬に行われた全国中学校体育大会では、団体において京都精華中学校女子バスケットボール部が2連覇で優勝、京都光華中学校女子ソフトテニス部が団体で優勝など、5種目7団体が入賞を果たしました。また、個人では、与謝野町立江陽中学校陸上競技部が男子走り高跳びでの優勝をはじめ、5種目で10名が入賞を果たしました。さらに、全国中学校駅伝大会では、京都光華中学校女子が5位の好成績を収め、個人では、3名が区間順位において、入賞を果たしました。冬季大会（スキー、スケート）では、スケート（フィギュア）女子の部において、2名が入賞を果たしました。

本連盟の主催事業については、今回で12回目を迎えるコーチングセミナー全体講義において、各校の顧問の先生や外部コーチの方々が、安心・安全かつ効果的に指導に携われるように専門的な視点から実技を含む講義を受けました。

しかしながら、少子化、教員の働き方改革、物価高騰による予算の確保等の課題については加速度が増す一方です。その中で、学校における運動部活動は過渡期を迎え、地域連携、地域展開が進み、様々なかたちへ変化しつつあります。これからも中体連として、子どもたちにとって最も良い形を追求し、一つ一つの課題と向き合い、解決に向けて、変化していくことが大切だと考えます。

後になりましたが、「京都府中学校体育連盟報告書」の編集に御協力いただきました関係者の皆様方、日頃から本連盟の活動に対して御理解・御協力いただきました皆様方、そして、御指導・御支援を賜りました京都府教育委員会・京都市教育委員会・各市町（広域連合）教育委員会・（公財）京都府スポーツ協会・関係諸団体の皆様に心から御礼申し上げ挨拶とさせていただきます。